

市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

温

故

～海風薫る渚橋～

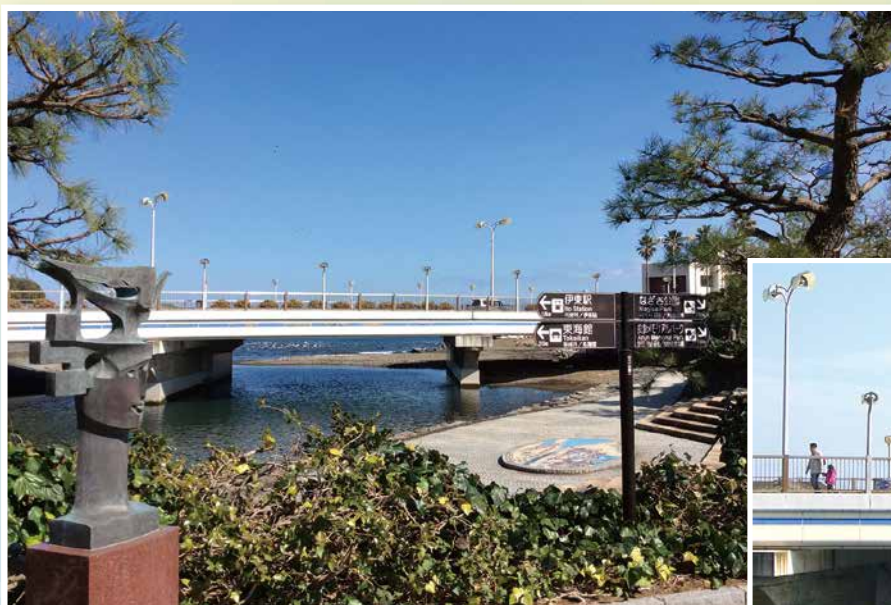
知

新



昭和25年 3 月（写真・文『絵はがき―伊東いまむかし』より）

ゝなぎさ橋の出来る以前、
ここには何度か木橋が架か
っていた。我々の子供の頃
にも玖須美や新井の子供達
が、海水浴に行くのに、川
口にあった橋を渡って行き
来した思い出がある。勿論
当時は、小さな橋で、人の
通行のみであった。観光客
も浴衣姿で、この橋を渡っ
ていたりした。ゝ



平成29年 2 月撮影



主な内容

- 3 月定例会の概要 【 P. 2 】
- 一般質問（8 議員が登壇） 【 P. 7 】
- 予算大綱質疑 【 P. 4 】
- 常任委員会だより 【 P.11 】

平成29年 3 月定例会

平成29年度一般会計予算を全会一致で可決 8 特別会計、2 企業会計についても可決

3 月定例会を 2 月 21 日から 3 月 17 日までの 25 日間の会期で開会しました。

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第39号	伊東市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例及び伊東市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、介護休暇の分割取得や介護時間の新設などの条例改正	市長	全会一致で可決
市議第40号	伊東市議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例の一部を改正する条例	伊東市健康福祉センター開設に伴い、議会の議決を経るべき重要な公の施設として位置づけられている「保健福祉センター」を「健康福祉センター」に改める条例改正	市長	全会一致で可決
市議第41号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律等の施行により、個人住民税の住宅借入金特別税額控除の適用期限を延長するとともに、消費税の増税が延期されたことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第42号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令の一部を改正する省令の公布に伴う条ずれの整理	市長	全会一致で可決
市議第43号	伊東市農業委員会委員等の定数を定める条例	農業協同組合法等の一部を改正する等の法律により、農業委員会等に関する法律の一部が改正され、農業委員の選出方法が公選制から議会の同意を得て任命する方法になったこと等に伴い、農業委員会委員の定数を 14 人、農業委員会農地利用最適化推進委員の定数を 8 人と定める条例制定	市長	全会一致で可決
市議第44号	農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	農業協同組合法等の一部を改正する等の法律による農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員会農地利用最適化推進委員の報酬を規定するなどの改正	市長	全会一致で可決
市議第45号	伊東市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例	国が新たな利用者負担軽減を実施することに伴い、市民税非課税世帯の第 2 子の保育料を「無料」に、ひとり親世帯のうち低所得の世帯の第 1 子の保育料を軽減する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第46号	伊東市育英奨学金条例の一部を改正する条例	国が一部の学生を対象に給付型奨学金を実施することに伴い、伊東市育英奨学金の給付制度を廃止し、それに代わり貸与型奨学金について、新たに返済免除制度として、卒業後、本市に居住した場合は返還額の半額を免除する制度を設けるとともに、月額限度額の引き上げ及び入学一時金を創設するなどの拡充をする条例改正	市長	全会一致で可決
市議第47号	公の施設の区域外設置について	熱海市との市境にある分譲地の水道施設が熱海市に移管されたことに伴い、地方自治法の規定により、熱海市と協議の上、熱海市水道施設を伊東市行政区域内に設置することについて、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第48号	平成28年度伊東市一般会計補正予算(第 4 号)	人件費や各種事務事業経費の整理、臨時福祉給付金給付事業や障害者自立支援事業、ジオパーク推進事業の追加、道路新設改良事業における国の交付金の内示に合わせた路線ごとの事業費の整理など、3,943万8,000 円の追加	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第49号	平成28年度伊東市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	地方公営企業会計移行業務委託料の契約差金の整理など581万6,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第50号	平成28年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第2号)	車券の売り上げが好調に推移したことに伴い、車券売上金の増額に見合う場外車券売上手数料や勝者投票払戻金など7億円の追加	市長	全会一致で可決
市議第51号	平成28年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	退職被保険者等療養給付費を初めとする保険給付費や共同事業拠出金を減額するとともに、人件費や各種事務経費等の整理で2億1,361万9,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第52号	平成28年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	後期高齢者医療広域連合に納付する保険料負担金と保険基盤安定負担金を増額するなど2,892万5,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第53号	平成28年度伊東市病院事業会計補正予算(第1号)	収益的収入において国庫補助金の追加、病院宿舍建設用地に係る土地使用料などで267万9,000円増額し、収益的支出において、人件費の整理と工事請負費の不用額の整理など1,086万4,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第54号	平成28年度伊東市水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入において、主に統合に伴う加入金で2,398万9,000円増額し、収益的支出では減価償却費などで1億3,731万1,000円の減額、資本的収入においては、国庫補助金を102万5,000円減額するもので、資本的支出では、統合に伴う給水メーター購入費など148万9,000円の増額	市長	全会一致で可決
市議第55号 と 市議第65号 🗨️ 討論	平成29年度伊東市一般会計予算、8特別会計予算及び2企業会計予算	地方自治法第96条第1項第2号の規定に基づき提出された各会計予算 (各会計予算の概要は下表をごらんください。)	市長	全会一致で可決
市議第66号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成28年人事院勧告において扶養手当の段階的改定が勧告されたことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
発議第15号	篠原峰子君の議員辞職について	篠原峰子議員の議員辞職	一	全会一致で許可
発議第16号	無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致で可決

■平成29年度各会計予算				
◎=全会一致で可決、○=賛成多数で可決 (単位: 千円、%)				
会計別	区 分	当初予算額	前年度対 比	審議結果
一 般 会 計		25,700,000	100.2%	◎
特 別 会 計	下 水 道 事 業	2,167,000	105.7%	◎
	競 輪 事 業	20,800,000	118.8%	◎
	国民健康保険事業	11,530,000	95.9%	◎
	土 地 取 得	550	14.1%	◎
	霊 園 事 業	52,000	214.9%	◎
	介 護 保 険 事 業	7,395,000	104.5%	◎
	介護老人保健施設	85,700	100.0%	◎
	後期高齢者医療	1,761,000	105.4%	◎
病 院 事 業 会 計		571,497	62.0%	◎
水 道 事 業 会 計		2,793,400	103.1%	◎
合 計		72,856,147	104.5%	一

※病院事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

■主な新規事業
○地域おこし協力隊活動費補助事業 ○サテライトオフィス等推進補助事業 ○伊東市制施行70周年記念PR事業 ○庁舎高圧受電設備更新事業 ○議場音響映像システム更新事業 ○ふるさと伊東応援寄附金返礼事業 ○健康福祉センター（健康福祉施設）管理運営委託事業 ○認知症対応型共同生活介護施設整備費補助事業 ○玖須美保育園一時預かり事業 ○伊豆栄光なぎさ保育園運営給付及び運営補助事業 ○使用済小型家電再資源化事業 ○伊東魚市場改築工事補助事業 ○伊東市制施行70周年記念按針メモリアルパークステージ整備事業 ○伊東市制施行70周年記念ディズニーパレード実施事業 ○伊東サンライズマリーナ浮桟橋修繕事業 ○南幼稚園富士見分園耐震補強事業 ○図書館・文化ホール建設基本構想策定事業 ○市史資料管理事業

本会議で行われた 討論の概要

市議第五五号

【賛成】正風改革クラブ

財政健全化に向けた取り組みと、効率的な市政運営と減債基金や財政調整基金の活用により、健全な財政基盤ができています。

◆市制施行七〇周年に向け本市の将来の発展と活性化に向けた取り組みなど、「地方創生」「未来協知」の実現に向け、七万総市民が活躍できるまちづくりを推進していくことを願う。

【賛成】日本共産党

◆初めて出された移住定住促進事業費、伊豆栄光なぎさ保育園、富戸の学童保育所開園、市史の通史編刊行予算、文化施設の構想策定予算などは評価できる。

◆待機児対策はさらに進めるべきである。

◆市民・現場の声を十分聞く柔軟で効果的な予算執行に期待する。

【賛成】杉本一彦議員

◆各事業におけるこれまでの進め方や考え方にとこところの違いもあることから、もろ手を挙げての賛成とまでは言えない。

◆市長選挙後の次期政権を担うリーダーに、決して本市の現況に満足せず、改めて謙虚に市民の声に耳を傾け、市民本位の政治を心掛けていただくことを期待する。

【賛成】公明党

◆一般会計予算二五七億円に対し、伊東市制施行七〇周年を迎え、次なる年への布石である各種事業予算に期待する。

◆地方創生、一億総活躍社会に向け観光施策及び子育て支援、高齢者福祉、教育自主財源の確保に留意されるべき事業効果に期待する。

予算大綱質疑

全会派及び会派に所属していない議員から6議員が質疑

～市長施政方針及び平成29年度各会計予算案について質疑～

(登壇順に掲載)

◎＝会派代表者、会派構成議員は議席順。質疑した議員は、太字・網かけ

■正風改革クラブ

・山口嘉昭議員・佐山 正議員
◎井戸清司議員・宮崎雅薫議員
・土屋 進議員

移住定住促進事業に関し、 本市の考え方及び事業展開 方針について伺う

少子高齢化と人口減少が急速に進む中、移住定住促進に関する施策は地方にとって大きな課題である。移住定住を推進するならば、本市及び伊豆半島の魅力をPRし、伊豆半島全体で進めていく必要性があると考ええる。また、まちおこしの成功事例を見ると民間の活力とマンパワーが重要であり、首都圏などを中心にいつか、どこかに移住を考えている方を対象にセミナー等を通して伊豆、伊東の魅力を発信し、訪れていたいただき、好きになってもうここが一番であると考えながら、本市としてどのような方針のもとに事業を推進するのか伺う。

市長

魅力ある観光地づくりを推進するとともに、伊豆半島の市町と連携し、魅力の向上に努める

移住定住促進については、就業、住居、子育て、教育、医療・福祉、交流・体験等のさまざまな観点から検討が必要との考えから、昨年立ち上げた移住促進連絡会議において、「伊東市移住・定住促進プラン骨子案」を作成し、新年度予算案に反映したところである。特に就業面では、地域おこし協力隊やサテライトオフィス等の開設に対する補助制度を創設するなど、雇用機会の創出を図っていく。今後の事業展開については、「ずっと住みたい、また来たい」と思うまちづくりの観点から、既存の事業の拡充を初め、魅力ある観光地づくりとともに、伊豆半島の市町と連携し、魅力の向上に努め、交流人口の拡大から移住促進につなげていきたいと考えている。

入湯税について、具体的に
予算のどの部分に反映され
ているか伺う

市長

平成二九年度予算において、環境美化センター管理費やクリーンセンター管理費の環境衛生施設の管理経費に一億九三二万七千円、観光施設維持管理事業や花咲く伊東整備事業等の観光施設整備に一億二三〇万三千円、地域活性化事業や按針祭執行事業などの観光振興経費に五三二万九千円を充当している。

『その他の質疑』二六項目

■自民・絆

・青木敬博議員◎中島弘道議員
・稲葉富士憲議員・稲葉正仁議員

ふるさと伊東応援寄附金返
礼事業の内容を伺う

ふるさと伊東応援寄附金返礼事業については、地場産業の振興、市の知名度アップ等のよい面もある一

方で、自治体間での返礼品競争の問題も挙げられているが、本市としての特色ある、ふるさと納税についての内容を伺う。

市長

インターネット上で、申し込み受付から、返礼品の選択、決済までの一連の手続を行うことができるようにし、地域の特色を生かした返礼品を寄附者に贈る

ふるさと伊東応援寄附金返礼事業については、インターネット上において、本市ふるさと納税の申し込み受付から返礼品の選択及び決済までの一連の寄附手続きを行うことのできるサイトを構築するとともに、寄附者に対しお礼の気持ちを込めて返礼品を贈るものである。

返礼品については、市内で生産、製造、加工、販売がされている特産品及び市内で利用できる宿泊施設や観光施設等の利用券などを対象に募集しているところであり、今後、地域の特色

を生かした返礼品を選定していく。

歳入の根幹である市税の予算編成に当たり、市内の経済状況をどのように把握し、積算したのか伺う

市長

市内経済の状況については、入湯客数が増加傾向にあることや、昨年一二月の有効求人倍率が二倍を超えているなど、雇用情勢においても改善がみられることから、今後の景気については、緩やかな回復傾向の継続が期待できるものと判断している。

『その他の質疑』一三項目

■民進クラブ

・四宮和彦議員◎鈴木克政議員
・浅田良弘議員

文化力向上に向けた事業が行われるが、文化振興に
関し今後の展開について伺う

伊東市文化振興基本条例は目的、基本理念のほか、

市の役割、市民の役割、文化振興基本構想の策定などが定められている。条例施行からわずか一年だが、いろいろな方向へ展開し、文化振興がいよいよスタートしたという印象である。このような観点から、図書館・文化ホール建設基本構想策定事業など文化力向上に向けた事業が行われるが、文化振興に関し今後の展開について伺う。

市長

心豊かな市民生活及び活力ある地域社会の実現に向けた施策について充実を図っていく

伊東市文化振興基本条例の施行に伴い、文化振興に係る施策を総合的に推進する伊東市文化振興基本構想を策定している。また、文化施設等の整備に向けた基金も設置したところであり、文化振興拠点施設の整備に向けた構想の策定も進めていく。

今後の展開については、条例にうたう「心豊かな市

民生活及び活力ある地域社会の実現」に向け、文化振興に関する市の役割である、活動支援、環境整備等の施策について充実を図っていく。

『その他の質疑』七項目

■公明党

鳥居康子議員・◎長沢 正議員

子育て支援に係る事業
にし、妊娠・出産期における
支援体制及び働く親の子育
て環境を整備する事業につ
いて伺う

新規事業である新生児聴覚検査事業を初め、子育て世代にとって安心して生育できることのできる環境整備のための取り組みについて伺う。

また、幼稚園一時預かり事業の拡充、放課後児童健全育成委託事業など、働く親の子育て環境を整備する事業について、取り組み状況及び今後の方針を伺う。

市長

総合的支援体制の充実を図り、安心して子育てできる環境づくりを推進していく

先天性の難聴を早期に見し、早期療育を図るために必要な新生児聴覚検査の公費助成を新たに実施する。また、母子保健型利用者支援事業により、全ての妊産婦等の状況を把握し、相談支援を実施するとともに、産前・産後サポート事業、産後ケア事業により妊産婦等を支える総合的支援体制の充実を図る。

働く親の子育て環境整備については、待機児童解消対策として、四月から伊豆栄光なぎさ保育園を開所する。さらに、市立幼稚園の預かり保育を新たに荻幼稚園で開始し、計三園となるほか、富戸小学校校区に放課後児童クラブを創設する。

『その他の質疑』 七項目

■日本共産党

佐藤龍彦議員・◎重岡秀子議員

伊豆栄光なぎさ保育園の開所や玖須美保育園一時預かり事業、保育人材育成支援事業があるが、待機児童の解消はどの程度図られる見込みか、また保育人材確保について伺う

市長

待機児童解消については、伊豆栄光なぎさ保育園の開所により、低年齢児で定員を一九人ふやしたところであるが、引き続き、低年齢において待機児童が発生する見込みであることから、玖須美保育園の一時預かり事業等を活用し、待機児童解消に向けた取り組みを進めていく。

また、保育人材確保については、潜在保育士の掘り起こしを目的とした保育人材育成支援事業を民間保育園へ委託し、三人程度を募集するとともに、保育園での就業につなげていけるよ

う支援を図っていく。

『その他の質疑』 二項目

杉本一彦議員

(会派に所属していない)

下水道事業特別会計に関し、下水道整備の進め方及び今後の計画を伺う

市長

下水道整備については、処理場の能力に応じた整備と合併処理浄化槽設置補助事業と連携して進めていく。さらに、施設の老朽化対策及び地震対策等にも取り組み、各処理場においては、放流水質を基準内に確保する。

『その他の質疑』 五項目



平成29年度一般会計予算の起立採決の様子

傍聴

- ・市役所低層棟4階へお越しください。(入場の際、傍聴者名簿をご記入いただきます。)



インターネット中継放送

- ・伊東市→市議会→インターネット中継放送(おむね会議の3開庁日後に公開)



本会議の様子を知る方法は？

ケーブルテレビ

- ・CVA
- ・IKC

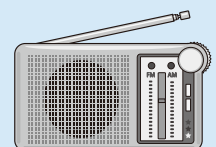
CVA122ではIKCの番組が、IKC122ではCVAの番組がごらんになれます



FMラジオ

- ・FMいとうなぎさステーション(76.3MHz)

NEW! / 平成29年3月定例会から生放送開始



このほか、会議録検索システム(インターネット)で会議録をごらんいただけます。(次回定例会告示日前に掲載します。)

一 般 質 問

8 議員が登壇/市政全般について質問 (登壇順に掲載)

伊東市立学校・園適正規模及び配置検討委員会の進捗状況及び統廃合の方向性について伺う



正風改革クラブ
山口 嘉昭 議員

少子化による学校、幼稚園、保育園の適正な規模等の検討は、子供に与える影響や安全面、また、学校・園の持つ地域的意義を考慮して、慎重に進めていかなければならない。本市においては、伊東市立学校・園適正規模及び配置検討委員会を立ち上げ、既に二回会議を開催しているが、同検討委員会の進捗状況及び統廃合の方向性について伺う。

教育長

平成二九年度中に学区ごとの問題点や今後の方向性について、検討委員会としての考えをとりまとめる予定

検討委員会については、



学校・園適正規模及び配置検討委員会

PTA代表や学校関係者、地域代表等、幅広く参画いただく中、本市の教育環境の現状と課題について共通理解を図るとともに、検討会の進め方について協議をしてきた。今後についてはアンケートを実施するとともに、平成二九年度中に学区ごとの問題点や今後のあるべき方向性について、検討委員会としての考えをとりまとめる予定である。

また、適正化に向けては、検討委員会が示した課題や方向性について、教育問題懇話会による審議を経ながら、本市として理想とする適正な規模あるいは配置に関する基本方針を策定していきたいと考えている。

『その他の質問』 三項目

新規就農者等支援事業に関する平成二八年度の実績及び成果を伺う



自民・絆
稲葉 正仁 議員

本市の農業の発展には、観光と結びつくことが不可欠であるが、例えば、収穫したものやその場で調理し、景色のよい畑の真ん中や、海が一望できる場所で魚料理とともに提供するなど、地の利に恵まれている本市ならではの可能性がある。そのように若者をひきつける新しい農業形態を本市で発展させるには、施設園芸が最適であり、子育て世代の若者が自分の時間を楽しみながら、また、障がいのある方や生活保護の方の自立も期待でき、さらにはUターンを希望する地元の若者の働く場にもなると考える。

そこで、新規就農者等支援事業に関する平成二八年

度の実績及び成果を伺う。

市長

一定の成果があったと認識している

本市独自の対策として、平成二八年度から新規就農者や施設園芸に新たに取り組む者への助成制度を創設し、担い手の確保や育成、経営の安定化を図る等、農業の活性化に努めており、一月末現在で、新規就農者は四件、耕運機・草刈機・防鳥ネット等の整備に対し助成を行うとともに、二件の施設園芸参入者に対し、小規模ビニールハウス設置費用を支援した。当該補助事業利用者からは、営農への参入や事業規模を拡大する意見があり、一定の成果があったと認識している。

『その他の質問』 一項目



施設園芸で栽培した
スターフルーツ

昨年三月に県道伊東修善寺線で発生した崩土・落石について、その後の対策及び状況を伺う



民進クラブ
浅田 良弘 議員

平成二八年三月に萩区内で崩土・落石が発生した県道伊東修善寺線は、多くの市民が利用する路線である。現在は雨量が増すと一時的に通行止めになり、その交通情報のあり方については、正確な情報がわかりにくいとの話を路線利用者から聞く。県道であるため、静岡県から情報が発信され、その情報が本市に届くまでにはタイムラグが生じると思うが、利便性や危機管理の観点から言えば、情報の迅速性や正確性は、不可欠である。

また、当該箇所は仮設工事で危険回避がされているが、今後、静岡県が行う工

事や、本市としての県への要望はどのようにされるのか等、状況を伺う。

市長

平成二九年度から工事に着手する予定であると県から報告を受けている

落石発生後、同月末までに現在の仮設防護柵を設置した後、九月に危険な浮石を除去し、雨量規制基準を時間二〇ミリから四〇ミリに引き上げて交通規制を行っている。

今後の見通しについては、今年度中に詳細な設計を終え、平成二九年度から工事に着手する予定であると県から報告を受けている。

『その他の質問』 六項目



崩土・落石が発生し雨量規制をしている
県道伊東修善寺線

国道一三五号線に植栽されているヤシについて、管理の方法及び費用を伺う



公明党
長 沢 正 議員

国道一三五号バイパスの宇佐美岩松交差点から湯川交差点までの区間には、道路脇に約一八〇本のヤシが植栽され、南国ムードを醸し出しているが、植栽当初より伸び続け、一〇メートルを超えているものも多い。

また、枯れた枝のもと部分は非常にかたく、落下した際、歩行者や通行車両に直撃すれば大事故になる。

そこで、ヤシの管理方法と管理に要する費用を伺う。

市長

定期的に状況を確認し、必要に応じて枝葉の剪定や落下防止対策器具の設置を行うなど、安全管理に努めている

ヤシの管理の方法及び管理に要する費用については、道路に落下した枝葉を回収するとともに、定期的にヤシの状況を確認し、必要に応じて枝葉の剪定や落下防止器具の設置を行うなど安全管理に努めており、平成二八年度の費用は、約二八五万円となっている。

今後、さらに樹高が高くなると剪定作業が困難になることから、並木景観の維持も考慮する中で、植えかえの計画や、管理体制の構築を検討し、通行車両や歩行者の安全を確保していきたい。

『その他の質問』 六項目



南国ムードを醸出するヤシ

移住促進においては、移住者の意見を聞いて生かせる仕組みが必要と考えるが、いかがか



日本共産党
重岡 秀子 議員

移住促進で成果を上げるためには、移住してきた方の意見や視点は欠くことができないもので、特に若い移住者の声を生かし、伊東のよさをアピールすることは効果的であると考えている。

本市の強み弱みを知る、最も強力なセールスマンである移住者の生の声を移住相談会で伝え、また、その声を今後の施策に反映させることが不可欠であると考え、ことから、移住者の意見を聞いて生かせる仕組みが必要と考えるが、いかがか。

市長

移住者の意見を生かす取り組みを実施している



伊東市移住
プロモーションビデオ

移住者の意見を生かす取り組みを実施しているところであり、移住・定住をテーマに実施した「いとう創造大賞」においても移住者からの提案が入賞し、具体的な実現方法について、提案者と協議を続けている。また、平成二八年度は「市政モニター会議」の委員に移住者が含まれており、市政に対し独自の視点でのご提案をいただくとともに、分譲地自治会の代表者との懇談も定期的に行うなど、常に移住者の方の意見を伺うよう努めているが、今後もしさらに若い移住者の意見を聞いて生かしていきたいと考えている。

『その他の質問』 三項目

伊東市健康福祉センター開設に伴い、旧保健福祉センターの今後について伺う



民進クラブ
四宮和彦議員

伊東市健康福祉センターの開設に伴い、機能を移転した後の旧保健福祉センターについて、平成二九年三月末をもって用途廃止となり、今後継続的な利用はできなくなるのか伺う。

また、旧保健福祉センターは、定期的に利用する団体があるほか、隣接地には障害者福祉施設もあり、福祉の観点から重要な施設であると同時に、利用者にとっても愛着のある施設となっている。こうした利用者への影響及び対応をどのように考えているか伺う。

市長
廃止となるが、有効活用する方向で協議をしている



旧保健福祉センターを利用するグループ
(出典：H25.9.18付伊豆新聞インターネット版)

保健福祉センターは、平成二九年三月末をもって廃止することになるが、社会福祉協議会を初め、大原作業所の運営法人や近隣の町内会、老人クラブ等から引き続き建物を使用したい旨の要望があるため、現在、有効的に活用する方向で協議を進めている。

『その他の質問』 四項目

就学援助制度に関し、新入学児童生徒学用品費を早期に支給することはできないか伺う



日本共産党
佐藤龍彦議員

近年、経済的な理由等で就学が困難な家庭が増加しているが、子育て世代にとって学費は家計に重くのしかかっている。例えば、中学校入学前の準備には一〇万円以上の費用が必要になるケースもあるが、就学援助費のうち、入学時に必要な学用品購入の費用を入学前の時期に支給する動きが、全国的に広がっている。

このように、入学準備費用を賄ってくれる就学援助制度は、経済的に苦しい家庭にとつて心強いものと考えられることから、本市の就学援助制度に関し、現在一学期末に支給されているもののうち、新入学児童生徒学



入学時に必要な学用品
(ランドセル)

用品費を、早期に支給することはできないか伺う。

市長
平成二九年度では、できるだけ早く支給できるように検討するよう、教育委員会に指示をしている

新入生を対象とする新入学児童生徒学用品費については、他の就学援助費とあわせて七月に支給をしているが、子育て世帯の入学時にかかる負担軽減を図るため、平成二九年度では、できるだけ早く支給できるように検討するよう、既に教育委員会に対し指示をしたところである。

『その他の質問』 五項目

伊東駅周辺地区や市街地
全体の再開発に関する近
況について伺う



杉本一彦 議員
(会派に所属していない)

本市の活性化を考える上
で、伊東駅周辺及び市街
地の再開発は決して欠かす
ことができない。特に、働
く世代の定住者を首都圏へ
の通勤が可能な市街地にふ
やして行く取り組みは、ま
ちのにぎわいを取り戻すこ
とにもつながる。そこで、
平成一八年四月に伊東駅前
地区まちづくり協議会がま
とめたまちづくり構想が承
認されたが、駅前の再開発
に向けた事業が構想倒れに
なっている印象を受けるこ
とから、駅前周辺地区の再
開発に関し、近況を伺う。

市長

駅前広場については、引き
続き協議を重ねていく



伊東駅周辺地区

伊東駅周辺地区の再開発
については、駅前広場と建
物部分の街区を分離して進
める方針であり、このうち
駅前広場については、限ら
れた敷地の中で理想的な形
状とすることが難しいこと
から関係者間の意見集約に
時間を要しているが、引き
続き協議を重ね、計画をま
とめていきたい。

また、建物部分の街区整
備については、デベロッ
パー等の事業協力者に対し
再整備の構想を説明し参画
の意向を調査しているが、
難しい状況が続いている。

なお、市街地全体の再開
発は、現在のところ、計画
の検討は行っていない。

『その他の質問』 四項目

閉会中の議会活動



※平成28年12月定例会閉会后、
平成29年3月定例会開会まで

平成28年～平成29年

- 12月13日 常任観光建設委員会協議会
" 常任委員会視察報告FM収録（総務・観光建設）
1月16～18日 常任福祉文教委員会行政視察
2月7日 常任観光建設委員会協議会
2月8日 常任委員会視察報告FM収録（福祉文教）
2月15日 議会運営委員会

市議会では、市民の皆様にも市議会の情報をお届けするため、
ホームページを開設しています。
主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひごらんください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ◎市議会の仕組み | ◎市議会図書室のご利用案内 |
| ◎市議会の構成 | ◎市議会の情報公開請求 |
| ◎市政の概要（全編版・抜粋版） | ◎伊東市議会会議録検索システム |
| ◎議会閉会中の活動状況 | ◎市議会インターネット中継放送 |
| ◎議長・副議長日程表 | ◎正副議長のごあいさつ |
| ◎行政視察 | ◎第18期伊東市議会議員名簿 |
| ◎いとう市議会だより | ◎歴代議長・副議長 |
| ◎請願・陳情、決議・意見書とは？ | ◎定例会・臨時会 |
| ◎市議会の傍聴を！ | |

伊東市議会
ホームページの
ご案内



伊東市議会

検索



常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、6月上旬発行予定の3月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問 移住定住促進に関する情報発信の方策について伺う。

答 移住に関する情報を集約するツールとして、現在、市のホームページの準備を進めているところであり、移住者向けパンフレット等についても、今後、作成、配布を検討していく。

サテライトオフィスの誘致については、不動産会社や関係団体等への働きかけや、テナントショップ、移住相談セミナー等を活用するなど、あらゆる機会を捉えて積極的に情報発信に努めていく。

問 廃プラスチックの分別収集について、今後の動向を伺う。

答 ことしの1月から一部の町内を選定し、実証事業に取り組んでいるところであり、平成29年度以降については、順次拡大をしながら、住民説明会等で意見を聴取する中で、市内全域で実施できるかどうかを見きわめていきたい。



廃プラスチックの分別作業

観光建設委員会

問 花咲く伊東整備事業に関し、花壇の花をブーゲンビリアに統一してはいかがか。

答 単年度では、全花壇にブーゲンビリアを植栽することが難しいことから、まずは、市制施行70周年記念事業として、ブーゲンビリアをメイン及び数力所に植栽するのが花でおもてなし事業であり、毎年度計上している花壇整備事業で年々花壇にブーゲンビリアを植栽し、花を統一していく予定である。



ブーゲンビリアの花でおもてなし
(イメージ)

問 市制施行70周年記念事業のディズニーパレードの構成について伺う。

答 ディズニーキャラクターが乗った専用車両2台、その車両の間には地元キッズダンサーに共通の衣装、共通のダンスで参加してもらい、さらに、その後続には按钮パレードのラインナップを予定しており、パレード構成のボリュームアップを図り、盛り上げていきたい。

福祉文教委員会

問 伊東市育英奨学金条例の一部改正に伴い、改正前から貸与を受けている方への対応を伺う。

答 新制度で改めて申請、決定を受け、旧制度を辞退していただくことで切り換え可能である。

問 玖須美保育園における一時預かり事業開始について、実施に至った経緯及び体制を伺う。

答 年度初め、全ての保育園で定員を満たして入所決定をしても、0～2歳の低年齢層で待機児童が予想されたため決定した。3人の保育士を配置し、最大10人の受け入れを行う予定である。

問 図書館・文化ホール建設基本構想策定委託料に関して、当局の方針を問う。

答 観光会館や図書館の老朽化が進んでおり、建てかえを視野に検討する時期にきている。施設の規模や形態、土地の選定を初めとした根本的な部分から調査、考察し、基本構想を策定する。



建てかえを視野に検討する
市立伊東図書館

常任委員会 行政視察概要

福祉文教委員会では先進事例などの調査・研修のため、二泊三日の行政視察を実施しました。
詳細はホームページをごらんください。

福祉文教委員会

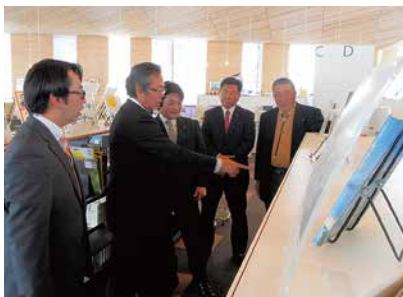
一月一六日～一八日

一月一六日

長野県小布施町

【まちとしょテラソ及びま
ちじゅう図書館】

交流と創造を楽しむ、文化の拠点を運営理念に位置づけ、ワークショップやイベントも多く開催する図書館事業及び自宅や店舗に本棚を置き、訪れる人と本を通して交流を図るまちじゅう図書館の取り組みを視察しました。



小布施町立図書館
まちとしょテラソ

一月一七日

石川県金沢市

【シェア金沢】

世代や障害の有無を超えて不特定多数の人が交流できるコミュニティを目指した就労機会創出の場モデルや高齢者移住モデルなど、独自の福祉サービスによる先進的なコミュニティ支援の取り組みを視察しました。

一月一八日

石川県金沢市

【不登校対策事業】

不登校児童生徒の背景が複雑多様化している中、不登校を未然に防止する学校づくり、学校には通えるものの教室に入れない児童・生徒へのアプローチなど、不登校対策の先進・包括的な取り組みを視察しました。

VOICE
の
声
傍聴者

◆今年、市政について学んでいる中で、初めて議会を傍聴させてもらい、色々勉強になりました。

◆思っていたより気軽に傍聴できることに少し驚きました。自分の住む街のことなので、もっと理解を深めるためにもまた傍聴に来たいと思います。

◆傍聴に行く前の勝手なイメージでは、もっと質問や討論が議会で行われるのかと思っていました。議会の日程によって、協議内容や方法が変わるとの事なので、

三月一日 議会を傍聴された
伊東青年会議所(JCC)の
皆さんにご感想を伺いました

また別の日程の議会を傍聴に行きたいと思っています。

◆議会を傍聴させて頂きありがとうございました。こういうことを行なっているかとても勉強になりました。色々な議案がある中、ただ率直に思ったのが、市民の方達が望んでいるような事を議案にあげて協議されているのかイマイチ伝わりませんでした。伊東の未来の為に、市民の方達にもつと伝えていく必要があるなと感じました。

議員の辞職

三月一日、篠原峰子議員が辞職しました。

6月定例会の予定

6月12日(月)
開 会

※日程等は、6月上旬の
議会運営委員会にて
正式に決定します。

編集後記

表紙写真を「温故知新」と題して掲載中ですが、昔の写真を見ていると、時代とともに発展していく伊東市の姿が見えてとれ、また、新たな発見があります。

今回の表紙「渚橋」も、今後、景観整備工事が予定されており、完成後は、撮影時点とは異なる、新しい景色が生まれます。

さて、平成二九年度は市制施行七〇周年ということで種々の記念事業が展開されます。市民も来遊客も楽しめ、記憶に残る事業となることを期待しますが、議会だよりでは、皆様に表紙写真で本市の歩みを感じていただければ光榮です。

議会報編集委員会

委員長 四宮 和彦
副委員長 井戸 清司
委員 青木 敬博
" 長 沢 正
" 佐藤 龍彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ